

加西市地球温暖化対策実行計画 平成16年度の取組結果

計画目標

地球温暖化は、大気中の二酸化炭素などの温室効果ガスが増加し、これに伴って地表面の温度が上昇する現象であり、私たちの生活に大きな被害が及ぶ可能性があります。この実行計画は、市の事務・事業に関し、平成10年度を基準として、平成16年度におけるCO₂換算温室効果ガスの総排出量を、未対策では15%増となるところを10%以内の上昇に抑制することを目標としています。

平成16年度取組結果

実行計画の最終年度となる平成16年度の温室効果ガス総排出量は14,681tで、基準年度と比較すると約13%増（昨年より1%低下）となり、目標は達成できませんでした。これは、電気使用量とごみ焼却量の増加が原因であり、総排出量のうち約49%が電気の使用、約33%がごみの焼却に



電気の使用量

(平成10年度との比較)
…約28%の増加
市庁舎及び各施設において、昼休みの消灯、OA機器の主電源オフ、温度管理の徹底（冷房

よるものであり、節電とごみ減量が今後の重要課題です。全体では目標未達成となりましたが、本実行計画に見込まれていなかった、病院の増改築や図書館・地域交流センターの新設による影響を無視すると、増加率は約8%となり、計画の範囲では目標を達成できました。

ゴミの焼却量

(平成10年度との比較)
…約28%の増加
ごみの分別収集、美バースデー等のリサイクルにご協力をいただいておりますが、法律改正に伴う野焼きの禁止等により増加しています。
ごみの分別、リサイクルやマイバッグ持参運動にご協力をお願いします。

28℃、暖房18℃)等の節電を行いました。ごみ焼却量の増加、下水処理施設の新設に加え、病院の増改築や図書館・地域交流センターの新設によって大幅に増加しました。
来庁者の皆様にはご不便をおかけしますが、公共施設の節電にご協力をお願いします。

燃料の使用

(平成10年度との比較)
…施設関係約11%の減少、
公用車約8%の減少
公用車の集中管理、アイドリングストップ、クリーンセンターの24時間運転の実施、病院増改築に伴う病棟閉鎖や配管改修による効率化等により大幅な減少となっています。

加西市の全公共施設での使用量
(131施設、公用車140台)

項目	単位	計画目標 (H16年度)	平成10年度実績 (基準値)	平成16年度実績	増減
燃料使用量(施設)	ℓ	879,600	918,300	817,883	△ 11%
燃料使用量(公用車)	ℓ	142,300	152,500	140,641	△ 8%
LPガス	kg	30,960	29,410	24,723	△ 16%
電気使用量	kWh	15,539,500	14,470,300	18,550,936	28%
一般廃棄物焼却量	t	10,800	9,048	11,553	28%

市庁舎における用紙類の使用

(平成11年度との比較)
コピー用紙の使用枚数は321万枚であり、約29%の減少です。両面印刷や使用済用紙の裏面利用で効果をあげています。また、再生紙の使用率は約86%であり、31%上昇しています。

市庁舎からのCO₂の排出量

(平成16年度)

バイオマス構想の利点

- ① 今までお金をかけ焼却していた食品廃棄物・生ごみ・下水汚泥・し尿汚泥・家畜廃棄物・稲わら・木くず等から電気・ガス・熱エネルギー等を産み出すことを通して財政負担を軽減できる。
- ② 先端的な環境関連産業にとつては、他都市に進出するよりも加西市内に立地すれば多額の国費が交付されるかに有利であり、雇用と税収増加が見込まれる。
- ③ 市民が地域の素晴らしさを再発見し、循環型農業の大切さを自覚することで地域おこしにつながる。
- ④ 地球温暖化に歯止めをかけ、希少動植物の住みやすい環境が守られる。